

5月15日まで

# 国立アイヌ民族博物館 第2回テーマ展示 地域からみたアイヌ文化展 「白老の衣服文化」

情報ノート

直線と面が織りなす複雑な模様で表現される衣服、アイヌ語でルウンペ。今回のテーマ展示は、木綿の衣服であるこのルウンペに焦点を当て、白老における「家系で受け継がれてきた衣服」から「地域で受け継ぐ衣服」への変遷について紹介しています。展示資料は、白老に関連した衣服や装身具など約100点を出品しています。また地域文化に関する伝承活動の団体・個人についても紹介しています。本テーマ展示は、アイヌ文化の独自性を地域単位で紹介する当館シリーズ展示「地域からみたアイヌ文化展」の第1回です。

## I 「白老コタンの衣服」

- 1 衣服からみた白老コタンの歴史
- 2 家系で受け継がれた衣服

## II 「白老民俗資料館」時代の衣服

- 1 自前で用意した衣服
- 2 展示備品として製作された衣服
- 3 参考にした衣服

## III 「アイヌ民族博物館時代から現在までの衣服」

- 1 ユニフォームとなった衣服
  - 2 衣服のひろがり
- ～白老の衣服文化の現在～



衣服(木綿)  
上野ムイテクン 製作



衣服(木綿)  
塩田のり子 製作



衣服(木綿)  
岡田育子 製作